

令和7年度（美術Ⅱ） シラバス

教 科	芸 術	科 目	美術Ⅱ		
単 位 数	1	学 年	2	類 型	文系
教 科 書	美術2（光村図書）				
学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	1 主題に沿った絵画・彫刻表現①（絵画・彫刻）	・意図に応じて材料や用具の特性を生かして表現を工夫し、創造的に表す。 ・形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練る。
2 学期	2 主題に沿った絵画・彫刻表現②（絵画・彫刻） 3 様々なデザイン（デザイン）	・自他作品について創造的なよさや美しさを感じ取り、主体的に創造活動に取り組む。 ・トータルデザイン、問題解決のためのデザイン、住まいのデザインなどから選択して主題を生成し、身近な環境を題材として構想を練る。
3 学期	4 好きな美術作家の紹介（鑑賞） 5 日本画の技法体験（絵画）	・それぞれが好きな作家の作品から、造形的なよさや美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める。 ・日本古来の岩絵の具の技法を理解し、材料や特性を生かした表現に取り組む。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	・作品 ・ワークシート
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・作品 ・ワークシート ・鑑賞資料
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・授業に取り組む態度 ・自己評価